

生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体の生物多様性に係るホットトピックを定期的に取りまとめ、自治体間で事例の共有を図るとともに、対外的な発信をおこなうものです。

★12月配信の記事募集中（〆切 11月29日(金)）会員等に共有いただける記事を募集中です！

生物多様性自治体ネットワークについて <https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/j-gbf/nlgb/>

●山形版生物多様性モバイルワークショップについて【山形県】

県内での生物多様性への認知や理解を拡大し、日常の暮らしの中で生物多様性を守るためのアクションにつなげようと、『やまがた環境展2024（10/19、20）』において、山形県版生物多様性木製モバイルづくりのワークショップを実施しました。現状や消費者としてどのようなことができるかを学び、木片に山形由来の生物（カモシカ、オシドリ、サクラマスなど）をスタンプし、ひもでつるし、バランスをとる作業は、様々な生物がバランスを取りながら成り立っている生態系の仕組みを肌で感じてもらえるきっかけになると思いました。



<ウェブサイト>

つなぐ環境やまがた (tunakanyamagata) Twitter, Instagram

<問い合わせ先>

山形県みどり自然課 担当：佐藤

TEL：023-630-2208 Mail：[ymidori@pref.yamagata.jp](mailto:yamidori@pref.yamagata.jp)

●生物多様性条約第 16 回締約国会議（COP16）出席【名古屋市】

10 月 21 日から南米コロンビアで COP16 が開催され、名古屋市は COP16 公式パラレルイベントである第 8 回国際自治体会議等に出席しました。今回の COP は過去最多の参加者数を記録し、世界中の自治体からも 1200 人ほどが参加しました。日本国内からは名古屋市以外にも、国際自治体会議へ愛知県、また、その他の COP16 関連イベントには神戸市・横浜市も参加しました。本市は杉野副市長がパネリストとして登壇し、生物多様性自治体ネットワークの取り組みについて発言したほか、J-GBF の出展ブースでも本ネットワークの紹介をさせていただきました。

ネイチャーポジティブの実現に向け、生物多様性の取り組みは今後社会への浸透がより一層進んでいくと考えられます。各国自治体はそれぞれの課題を抱えながらも、国際的な動きを踏まえて施策を検討していく必要があります。



<問い合わせ先>

名古屋市環境局環境企画課 担当：池田、稲垣

TEL：052-972-2698 Mail：a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

その他

<今後の予定>

1 月 J-GBF 地域連携フォーラム（テーマ 食と生物多様性）※詳細は 11 月中旬から検討

<現在依頼中の案件>

なし

<J-GBF ネイチャーポジティブ行動計画における本ネットワークの指標の進捗状況>

指標	数値（2024/10/31 時点）	基準日※からの増減
生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体数	198 自治体	+ 5 自治体
加盟自治体における 30by30 アライアンス加入数	49 自治体	+ 16 自治体

※行動計画承認日（R5.9.12）